

私は小学5年生から6年生の一学期までメル校にいました。メル校は幼稚園、小学校、中学校が一つになっている学校なのでたくさんの行事があります。そして、メルボルンにある唯一の日本人学校なので、現地の方と触れ合うことができる行事もたくさんあります。

その中で私が一番印象に残っている行事はジャパンフェスティバルです。ジャパンフェスティバルとは5月に開催される日本人のお祭りで、メル校生は幼稚園生と小学生チーム、中学生チームの2つに分かれて日本の伝統的な踊りを踊ります。私は6年生の時にジャパンフェスティバルのダンスリーダーになりました。今年は4月からの転入生も多く、ダンスは幼稚園生も6年生と同じ振り付けで踊るため、最初はフェスティバルの当日までに踊りが完成できるかとても心配しました。特に幼稚園生の1人が足にけがをして一ヶ月間踊りを踊ることができず、残り1週間で踊りを覚えなくてはいけなくなった時は悩みました。私の練習チームには5年生がいなかったのですが、私が幼稚園の子につきっきりで教えることで皆をまとめられなくなってしまわないかと思ったのです。すると4年生の子が『私が皆をまとめるから幼稚園の子中心に教えてあげて』と言ってくれたのです。そのおかげで幼稚園の子も踊りをしっかり覚えることができ、本番の踊りは大成功でした。踊り終わった後に私が友達とジャパンフェスティバルの会場を回っていたらオーストラリアの方が『とても素晴らしい踊りだったよ。来年も楽しみだ。』とわざわざ声をかけて下さったときはとても感激して頑張ったよかったです。ジャパンフェスティバルは、私達皆が一生懸命取り組むことで現地の方に日本や日本人のことを知ってもらえる素晴らしい機会だと思いました。

メル校は生徒の人数が少ないため、皆が代表やリーダーになる機会がたくさんあります。リーダーを経験することで、皆をまとめることの難しさを知ると共にやりがいを感じることができると思います。だから、メル校のみんなは協力的で同じ気持ちになってリーダーをサポートしてくれます。一つの目標に向かって団結するので学年関係なくどんどん仲良くなります。

ちなみに、現地の方と触れ合う中で、英語でコミュニケーションをとることの大切さや難しさも感じますが、メル校では英語をととても熱心に指導して下さる先生方がいらっしゃるのです。単調な授業ではなくて、教えてくれた内容を楽しく発展させてくれるので飽きることがありません。最初は皆との英語の差に驚いたけれど、全員が転入してきた時に同じ気持ちを味わっているのです。新しい人には在校生が親切に教えてくれます。

私のメル校生活は短いものでしたが、そこで得られた出会いと時間はかけがえのないものとなりました。メル校に通えて本当によかったと思います。